



シーズン突入直前! 御大の“金言”を聞け!!

## 10 特集 石井旭舟 両ダンゴの基本

## 20,76 特別企画 乗込み大胆予想

新春特大プレゼント  
当選者発表 172

期待の乗込み釣り場&基礎知識公開 三島湖 豊英湖 亀山湖 高滝湖 印旛沼

- 26 小池忠教 激釣の急所  
《第四回》浅草へら鮒会3月例会 横利根川
- 34 中澤岳 フィールド真っ向勝負  
《Vol.16》底釣り両ダンゴ:例会優勝釣法全公開in清遊湖
- 40 杉山達也のSUPER SPLASH!  
《ROUND.16》杉山流超強力激釣理論。カツケウドセット!! 厚木HC
- 46 斉藤心也 炎のチョーチン12番対決!!  
《第5戦》vs森崎政典in三島湖
- 56 田辺哲男 MYへら道  
《へら道その四》解禁日に激釣したい! 精進湖
- ★AREA REPORT  
恋瀬川(茨城県) 本誌・伊藤洋一  
河北潟(石川県) 山本一朗  
戸田川(愛知県) 後藤 誠  
当麻池(奈良県)・北山湖(佐賀県) 前田誠志、河口正伸
- 134 竹とともに生きる。  
《第42回》「小影舟」 山本一樹
- 138 石井旭舟 へらぶな浪漫街道  
《第五十二回》岡山県 四番川・加茂川

- 146 岡田清 Deep Side Angle  
《Vol.40》【“嵐”】 筑波湖(茨城県)
- 152 吉川ひとみのあっちこっちそっち♡ 激闘編  
《番外編》ひとピー、ドクターストップ!?
- 156 稲毛利夫 崖っぶち釣行!  
《第5回》師匠の春はアタリもない春です! 武蔵富士CC脇の池(埼玉県鳩山町)、学頭沼、谷田沼(越生町)、唐沢山自然公園内の池(栃木県佐野市)、和田池(栃木県足利市)
- 160 私の宝物  
《Treasure.16》ゲスト:花島 保さん
- 193 棚網 久の我流  
《第十五回》本湖の大型狙い!! 三名湖
- 201 釣り味  
《第5回》埼玉県川口市 つり堀「中の島センター」の【鯰天重】
- 203 北川穂積 西の交友録  
《第十七回》ゲスト:篠田裕伊 釣り場:甲南へらの池(滋賀県)
- 206 釣果予想クイズ
- 208 フィッシングレディ  
《今月のレディ》頼重貴子さん 筑波白湖水湖

**釣り場割引クーポン券**  
p.163~

野田幸手園 椎の木湖  
清遊湖 谷和原大沼  
上尾園 F.A吉羽園  
谷養魚場 将監  
柳生F.P 筑波白湖水湖  
泉堰 逆井HC  
友部湯崎湖 三和新池  
狭山HC 川越FC  
芦田湖水光園  
鳥羽井沼 大上へら池  
霧の沼 小川つり堀園  
清川つくしFC  
千代田湖・舟宿 千和  
相模湖・釣舟 五宝亭  
相模湖・釣舟 天狗岩  
吉森HC  
甲南へらの池 当麻池  
水藻FC 朝日池  
釣り堀八十八  
精進湖・釣舟 金風荘  
西湖・釣舟 白根  
西湖・釣舟 丸美  
西湖・釣舟 青木ヶ原  
府中HC

- 83 ガチンコ道場  
《第17回》メンバー騒然!? 超豪華・新講師が続々登場!
- 91 都祭義晃 カリスマ伝説2007  
《Vol.17》~お世話になったあの釣り場へ、大工的なプレゼント~ 長熊釣堀センター
- 99 江成公隆のトーナメンター、復活への道。  
《Vol.59》杞憂
- 106 夢追釣人(ゆめおもうもの) 天野正由  
今月の夢・様々な呪縛を解き放ちたい! 相模川猿ヶ島、海老名東名下&田貫湖
- 110 水辺のプラネタリウム 吉本亜土  
《今月の星空》「海を見ていた午後」
- 114 最狂へら戦士養成所“鮒の穴” 漢タカハシ  
《第五十一話》魚の命について考えよう
- 119 へら鮒を三枚に下ろす 西田美明  
《第5回》「業界を3枚に下ろす?」
- 122 釣れてまっか~? 釣らせてくださいっ! 南元彦  
《第5回》えらいこっちゃー、絹ちゃんの隣! 水藻FC

- 124 水と戯れ、風と遊ぶ ホワイト  
《第5回》「水」
- 126 野田幸手園新聞
- 161 ワクワク管理釣り場情報
- 170 小売店情報
- ★へら鮒BOX  
里ちゃんの最新編集長雑記  
情報発信基地  
ボイス  
コラム『日研だより』 日研広報部長・遠藤克己  
コラム『上村流!』 上村泰生  
コラム『紀州“想いの竹”のものがたり』 中峯伸行  
プレゼント発表  
広告索引  
編集後記

STAFF

- 発行人  
根本百合子
- 編集長  
田中里史
- 編集部  
大場勝良  
諸富一秋  
伊藤小百合  
伊藤洋一
- へら鮒NET  
根本大作  
高田 準
- 企画  
〈オフィス・えいぶ〉  
藤原 肇

戸張 誠「関へら戦2007」は例会開催が3月28日のため、また「へら鮒釣り超基本講座」は誌面の都合によりお休みさせていただきます

この物語は、  
栄光、そして挫折を味わい、  
今、再び這い上がろうとする一人の男の人間ドラマである。

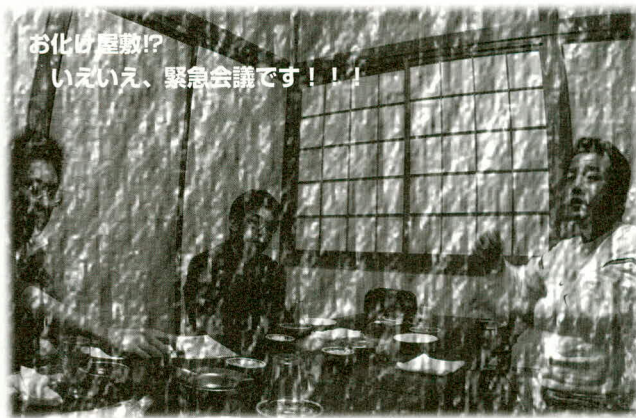
# 江成公隆の トーナメント、 復活への道。

text and photo by Kimitaka Enari and Satoshi Tanaka  
業界初、Web運動企画！—いよいよ再発刊！ (URL) <http://hesar.yokohamaturumi.net>

## 「一歩進んで二歩下がる!?!」

〈Vol.59〉

# 「杞憂」



江成という男は幸せ者である。  
酒を酌み交わしながら、  
つくづく羨ましいと思いました…。

by 里ちゃん

今月は里が書かせて頂く。

連載打ち切りについて江成自身の言葉で触れてきた先月号には、里の想像を超えた読者からの反響があった。

意外だったのは、そのほとんどが「やめなideくれー」というもので、今さらながら江成の人気を再認識させられた次第である。

ナリーズ幹事長・平山氏から直接クレームがあったのは発売直後で、

「俺は何を差し置いても毎月江成君のページから読んでんだ〜!! もちろん編集長が決めたんならとやかく言う権利もつりもねえ…でもさ、とりあえず話すんべよ。電話じゃラチあかねえ…」

3月16日花金(死語!)18時。スーパー多忙な江成のスケジュールを最優先に考慮し、江成の自宅近くの居酒屋で飲むことに決まった。

メンバーはナリーズ幹事長の平山氏と副会長・須崎氏、そして里、江成である。埼玉・千葉・茨城という、へら人口に占める割合がもっとも高い三大県在住の会員がナリーズにも多く、今回参加したメンバーも御多分に洩れず。にもかかわらず、ド平日であるこの日の横浜に18時にいなければならぬワケで、「コイツラちゃんと仕事してるの?」と疑問に感じる読者もいるかもしれない。…とりあえず(里だけは?)御心配なく!

電車利用の里は、江成宅最寄りの駅で待ち合わせた平山号に拾ってもらった。そこから歩いてもワケない短い道中、平山・須崎両氏の口から出た言葉は、  
「ナリーズが江成君および連載に対し、悪影響を及ぼしているのではないかと? もしそうで

首脳会議!?

あれは、我々は今すぐにも反省・撤退する」  
 …のだと。江成君の連載あつてのナリーズ」  
 なのだ…。

里が言った「マンネリ」という言葉に對してのレスポンスということになるが、「ナリーズネタ」が直接マンネリだと断定したつもりもない里は、正直戸惑ってしまった。

仲間からこんなにも愛されている江成。

そして、連載が「ナリーズ会報」と化してしまっている可能性に気付けば、会員として毎月自分達のことに関われることを素直に喜べずに、自ら撤退も辞さない覚悟を持った仲間…。

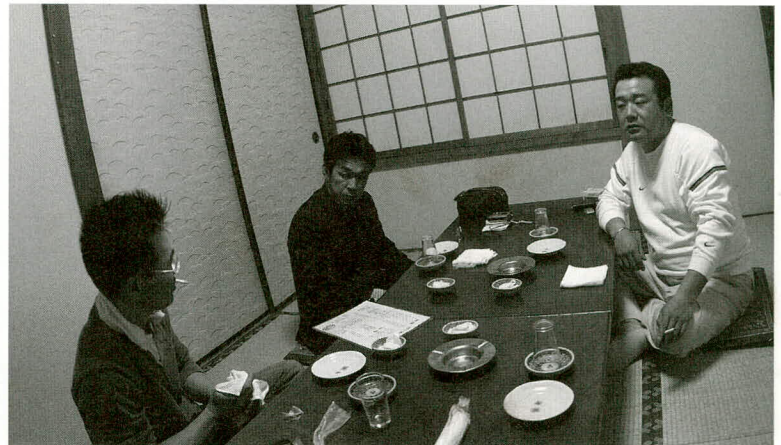
江成はどこまで自覚しているのか。

実は、先月号の江成の原稿には、少々手を加えた。「そろそろ結果を出してくれよ」だの「横道に逸れないよう警鐘」だのは、里の創作である。そして極め付けは、「とりあえず今年は『勝ち』に行きますよー」というシメのセリフ。打ち切り打診後上がった来た原稿にしては、あまりにもサバサバとしており、逆に焦った里が勝手に付け加えた。これらが無いものとしてもう一度読み返していただければ、江成ファンの多くは心配する筈であった。江成のモチベーションは極端に低下している、と。

このままでは釣りそのものもやめてしまいかねない。何せ「ナリーズ例会」取材Ⅱ月にたった一度の釣り」なのだ。業界の異端児、鬼っ子、代弁者（読者の？里の？）、天才？と名声？を欲しいままにする江成をこのままにしておくワケにはいくまい。

…これでは江成の思うツボか。いや、里はすでに江成の術中にハマっているのかもしれない。

とにかく江成の態度次第では、平手打ちを一発お見舞いしてやらないと気が済まないくらいであった。



加護ちゃん喫煙現場…ではない。  
 男達は集まり、本音をぶつけあってとことん語り合うことにした。  
 でも、ほとんど平山氏（右）が喋っていた…

モチベーション。

平山…本人を前にして申し訳ないけど、言っちゃうね。最近の江成君の記事はつまらない。俺が部外者だったらさ、「毎月毎月なんだよナリーズって」と思うよ。そういう声あんてしようよお？ ね、編集長？

里…ありますよ。いつもってワケじゃないですけど、ナリーズ杯の時は酷かったですね（笑）。ただ、これはやっかみ半分だと思うんで、次回もあるのなら公募すればいいことです。一般の江成ファンからすれば、平山・須崎に独占されちゃったと映るんでしょうね。ある意味事実なんですが…

平…そうだよ。それはね、本当に申し訳ないと感じているのよ。俺って夢中になると突っ走っちゃうタイプだから、ガンガンみんなを巻き込んでいってふと気が付くと、もしかしたらみんな迷惑してるんじゃないかって思うことがよくある。今回のケースで言えば、多くの一般読者に対してもそうだし、江成君にもね。

江成…え？ 僕は全然迷惑なんて感じてないですよ。

平山…いや、最初は江成君の都合最優先で集まるってのが大前提だったワケだし、会員を増やそうなんて気持ちはこれっぽっちもなかったのよ。でも我々だけで江成君を独占してはならないと思ったからね、来る者は拒まずで会員が増えてしまった。今でも俺とどこに連絡してくる入会希望者は後を絶たないんだよ。最近、あまり先走っちゃいカントって、これでもグッと堪えてお断りしてるんだけどね、やっぱりみんながみんな時間が自由になるメンバーではないから、結果として例会日も決まっちゃった。江成君にはプレッシャ

…だよ。

江成…いやいや、それは記事に書いたとおり、当然の流れですよ。僕も大所帯はいもんだなあって言っちゃいましたね。でもさすがに全部出られないかもしれないと思い始めたんで、例会が目的ではなくコミュニティなんだって先手を打ったワケです（笑）。

平山…それは読めてただけだよ、あなたが出て来ないコミュニティに何の意味があるってえのよ？

江成…いや、僕はそんなじゃないですよ。みんな理論派ですし、ニュートラルに熱く語り合う場は僕抜きでも成立する筈です。もしかして二月例会のあの飲み会で、僕がしょっちゅうあくびしてたからそんな心配されてるのか？ 寝てなかっただけです。やる気がなくなったわけではありません（笑）。

平山…あなたは自分の凄さを全く分かってない。なんだかんだ言っちゃって、実質ナリーズは江成ファンクラブなんだよ。俺だって「このフック飛んだ連載書いてる江成君ってのはどんな人なんだろう？」とっしても会いたいですさ。岡田君や里ちゃんにお願いしてやると会えた時は嬉しくて嬉しくて…。

江成…マジっすかあ？

須崎…マジです。私も昨夏に初めてお会いした時の興奮はいまだに忘れられません。これが月イチ釣り師でありながら、あの底釣りゼミをぶち上げた江成さんなのか、と。オリジナルを知らなくとも、「底釣り」についてのセッションの重要性」は、いまや完全にニュースタンダードとして認知されていますからね。江成…須崎さんまでそんな。いつも言ってますけど、そもそも底釣りゼミは僕の理論ではないんですよ。北城さんの理論なんですから。

平山…そんなことは今やどうだっていいの。言われてみれば簡単なことを、あそこまで難

しく掘り下げて書けないでしょ、普通の人は？

江成…：それって誉めていただいでるんです？

平山…：当たり前でしょうよ！

江成…：ありがとうございます。ライターとして誉めていただいたのは嬉しいんですけど、僕はプロではないので、いくらでも時間をかけられるってのは有利だったと思いますね。ただ、今後はもうそういう原稿は厳しいと思います。というわけで、このままトーナメント復活出来そうもないので、僕が遺したモノは、皆さんに誉めていただいた底釣りゼミだけってことになりですね(笑)。僕的には「伊藤洋一の常識」も相当お気に入りだったんですけど…まあ何も無いじゃなくて良かった良かった。

里…：アニキ！ いい加減にしてくださいよ！ このまま終わってもいいんですか？

江成…：だって打ち切りだろ？ 仕方ないじゃないか。それとも何？「月イチで復活を目指す」というテーマを諦めるのかって言いたいワケ？ 諦めたくないけどさ、そのたった月に一度の釣りを大事に出来ない現状では正直厳しいだろうね。ハリも結んでいかないし、仕掛けもウキもない。最初の頃はそれがネタになったんで良かったんだけど、さすがにもうウンザリ。中途半端な状態で月イチってのが許せないね。でも時間も無い。生活かかってから仕事優先。仕方ないよ。

須崎…：まあまあ二人とも！ どうしても時間がないのであれば、例えば、我々が江成さんのハリを結んだとしたらどうですか？ 我々が江成さんを手助けするとしたら、それくらいのことしか出来ませんが…。

江成…：え？ 須崎さん、僕はそこまでして釣りをするつもりはないですよ。

里…：じゃあ釣りに対するモチベーションは下

がっていない、と？

江成…：と、思うよ。むしろみんなに触発されて、モチベーションが高まっているからこそ、現状が許せないわけで、こんな中途半端だったらいっそのことへら釣りやめちゃおうかって思ったりもする。でも釣りに行くと、面白過ぎて、やめられっこないとも思う。

平山…：ホント、竿を握るとただの釣りバカだもんね、江成君は。釣れないと傷を深くしないよう歩き出しちゃう有名な人が多いけど、江成君は最後まで夢中でやってくるもんなあ…。

江成…：僕はカッコつけなければ「ならない」前提がないんですよ。いまや「釣れない人」としてメディアに出てるんですからね。そしてそんな人がノーガキもごくごくというところでもない企画なワケで(笑)。もう全身ギャグというしかないです。

平山…：よし分かった。江成君、一日10分だったら作れるかい？

江成…：え？ 10分？ まさか僕の貴重な居眠りタイムをハリ結べってことですか？

平山…：そう。毎日じゃなくてもいいからさ、そうやってコツコツやれば溜まるでしょうよ？

江成…：そうですね。今以上に工夫しなければ始まらないですよ。頑張ってみます。

平山…：じゃ、もう「忙しい」ってのは言わないでね。十分に分かってるから。

江成…：そうですね。いつも心配させてしまっ

て申し訳ありません。でも、同情してもらいたくないなんて思っているんですよ？

平山…：それも承知の上で、もうひとつ提案。今年のトーナメントは全部出る必要はないよ

ね。秋のメジャーに絞って、それまでに何とかウキを作るってのはどう？ 釣りに行かないで作った方がいいと思うよ。ナリーズ例会も免除。連載なんか休載しちゃうばいばいんだ

よ。江成君はまだ現役としてやって行ける年齢だし、復帰できる実力は充分にあると俺は睨んでる。まだライターに専念するのは早いよ。なあ里ちゃん？

里…：何勝手に決めてんですか！ 休載はダメですよ。

須崎…：あれだけ凄いの(底釣りゼミ)を作ってしまったと、その後のネタに困ってるんではなかるうか？という心配を我々読者はしてしまっわけです。正直最近、「原稿を埋めるため」に、ナリーズは役立っていったらどうなっている気はします。でも一度味わってしまったと、読者の要求レベルはそのラインから落ちないですから…実際のところどうですか？

江成…：いえ、ネタは山ほどありますよ。ただ検証する時間(取材)と、原稿を練る時間がないので難しいですね。

里…：アニキの原稿に何を期待するかっていうのは、読み手側個々によると思います。確かに我々プロのライター顔負けの深い洞察は読みごたえありますが、「えな理論」だけがアニキではありませんし、というより、むしろ「えな理論」はイレギュラーなんです。テーマから見ればまったくの想定外だったわけなんです。僕は人間ドラマが主軸だと思ってるんですよ。一年間釣りの話題がゼロでは困りますが、釣りの話が全くないっていうのも、たまにはいいんじゃないかと思えますよ。大

人が読む雑誌だと思っっていますから。

須崎…：そう言われてみれば、私が最初に引っ掛かった話題は選挙の話でした…。

平山…：じゃあなんで「マンネリ」だなんて言

い出すんだよ。

里…：モチベーションの問題ですね。アニキの釣りに対するモチベーションが下がってるん

じゃないかって感じたからです。本人は否定していますが、この半年ほどの間「もう釣

新作!!

慎重にテストを繰り返した底釣り専用タイプ。杉山作初の美しいブラックボディで登場!

【底釣りスタイル】



繊細な「底」を完全表現する専用タイプ。  
●ボディは羽根2枚合わせ5.5mm径。精悍な極薄ブラック塗装仕上げを採用  
●ダイソン製ホワイトトップ(内径1mmパイプ)採用。軽量かつ視認性大幅UP!  
●サイズ：一番(T110cm B9cm カーボン足4.3cm)～六番(T17.5cm B16.5cm カーボン足4.7cm)  
ワンサイズごとにバランスを突き詰めた設計で、スムーズなジミと理想的な返しを実現!  
●定価1本7,350円(税込)

杉山作

取り扱い店(五十音順)

埼玉・越谷 かわせみ(☎048-969-5067) 茨城・下妻 こやの釣具(☎0296-44-1619) 東京・渋谷 サンスイ川釣り館(☎03-3499-5025)  
埼玉・入間 への三水(☎042-964-2093) 栃木・益子 フィッシングハウスほその(☎0285-72-2215) 神奈川・川崎 鮎仙人(☎044-287-7470)  
東京・吉祥寺 丸勝(☎0422-22-8923) 東京・青梅 吉川釣具店(☎0428-22-2467)

りはいいや」って思ってた時期もある筈ですよ。とことんまでやる極端な人ですから、仕事が面白くて仕方なければ釣りは不要ですよ。僕はリニューアル云々で打ち切りの話をしましたが、本音はそんなんです。極端な話、モチベーションさえあれば、釣れなくても勝てなくてもいいんですよ。「なにくそ！」という気持ちがアニキの根底にあれば、何を書いてもらっても構わない。それがこの連載のテーマなんですから。

平山…なるほどね。さすが里ちゃんだよ。じゃあ決まりだ。モチベーションは下がってないって本人が言ってるんだ。12月号以降も継続、でいいやな？

里…さあ？ それはこれからじっくり見させてもらいますが、モチベーションさえキープされていれば僕はいつまでも読みたいと思っているんですね。忙しい中でキツいとは思いますが、休載なんてことになるようじゃ考えちゃいます。これは当然問題です。

平山…なんだよ、打ち切りはよくても休載はダメなのかよ。アンタ若いのに厳しいねえ。

里…またそんな言い方をする〜！

須崎…ほぼ打ち切り撤回ということではないですね。これは編集長という立場でのお話と捉えて宜しいんじゃないか。

平山…須崎さんさあ、里ちゃんも江成君の大ファンなんだよ。編集長という立場でホントはそういうのマジいんだろと思うんだけど、接し方が難しく可哀想だよな。

里…ただ言っておきますけど、アニキが見事に復活したとしたら、それはそれで最終回だということをお忘れなく。全国大会「出場」だけでも復活とみなしますよ〜！

平山…上等だよ。復活したら今度はカラーで新連載になるだけだかなあ！ ガハハ…というわけで、江成君さ、読者のみんなにもうしばらく夢を見せてやってくれよな。

江成…いやだから、僕はモチベーション下がってないですってば。時間だけです。

平山…じゃ、このあとハリ結ぼうよ。我々は今日はもう帰るからさ。

江成…そうなんですよ。そういうことなんですよ。酔っぱらってゴキゲンで寝てしまふその前に、10分ハリ結ばなくちゃ僕の未来はないんですよ。

平山…冗談だよ江成くん！ 次回例会はウドンは俺が作ってあげようし、ウキもちょっとテストドライブして欲しいのがあるからセットで貸してあげる。今日はもうゆっくり休んで。里ちゃん、今月の江成君の原稿は免除になるんですよ？

里…免除しませんよ！ それにねアニキ、試合本番で仕掛け作ったりハリス結びながら釣ったりって、原稿のネタ的には美味しいかもしれないけど、一生懸命やってる周りの方々に失礼だと思いますよ！

江成…おっ、今日は厳しいな…。本当に結び時間がなかったんだってば。でも、言ってることはよく分かるよ。反省してる。それとさあ、こんなに持ち上げていただいたコンバユイ対談は俺自身では書けないでしょうよ。日程的に取材はもう厳しいし。

里…ナリーズ例会は21日でしたっけ…。

平山…そう。椎の木湖で、メーターウドンセット縛り。里ちゃんは締め切り前で参加は無理だよな。

里…そうですね。たった今一本増えましたのでなおさら(怒)。

平山…おっ！

里…そのかわりアニキ、セットのことでいいんで反省文提出のこと！ 僕だけじゃ5ページ全部は無理っす！

江成…了解。21日取材じゃ、「正規の」締め切りは27、8くらい(笑)？

里…26！



## 発露。

椎の木湖で行われたナリーズ第7回例会の結果が江成から送られてきた。

「これだけ、アニキは何位だったのかわかんない。セット縛りじゃさぞ苦戦しただろうな…」

正直に告白する。リストの「下」から探した。しかし、名前がない。

なんと「エナリ」は、上から二番目にあっただ！

これは事件である。江成のセットは昨年のジャパンカップ以来、半年ぶりだし、例会当日は借り物のウキだった筈である。…それにしては凄いな。

「たまたま」と言った江成。この釣りにマグは全く存在しないとは思わないが、極めて確率の低い事象であると、里は捉えているのだ。

「じゃあ、引き出しをうまく引き出せただけでことにしてよ」

それはそれで、ある意味とんでもなくトンがったセリフではある。つまり、江成の引き出しにはすでに材料は全て入っており、実践でうまく引き出すことさえ出来れば、結果はついてくると言っているのだ。たしかに、連載当初のセット編から脳内セットまで、セットの記事はそれなりに多かった。にもかかわらず、結果は全くと言っていいほど出ていなかったのだ。

後日、例会の様子は平山氏から聞いた。

「今回の江成君はかなり長い時間みんなの釣りを見てたね。いつも自分の釣りに没頭する江成君にしては珍しいことだよ」

何となく見えてきた。メーターセット縛りという規定のもと、ついに本腰を入れる気になったのではないか。いや、ただの確認作業

# 釣番付

## 料金表

50名まで	55,000円
51名～75名	60,000円
76名～100名	65,000円
101名～125名	70,000円
126名～150名	75,000円
151名～175名	80,000円
176名～200名	85,000円

- ・仕上がりは黒一色です
- ・人数は成績表部分のみ数えます

## 書体見本

1. ぐりへの釣会
2. ぐりへの釣会
3. ぐりへら釣会

- ・番付をインターネットで公開できます(無料)

お問い合わせご注文はお早めに!

取扱店: 柴舟 03-3613-2727

## ウキや小物の銘入れに 転写シール

初回注文黒一色、300銘で8,500円～  
2回目以降同じものをご注文の場合  
は3,500円～

- ・8書体、8色を御用意しています
- ・角印も作れます

取扱店:

柴舟(東京都江戸川区)

03-3613-2727

佐伯釣具店(神奈川県川崎市)

044-911-3722

SANSUI川づり館(東京都渋谷区)

03-3499-5025

フィッシング中原(神奈川県川崎市)

044-711-8266

鮒仙人(神奈川県川崎市)

044-287-7470

お問い合わせ、ご注文は各取扱店  
または下記HPまでどうぞ

office27  
あとりえぐり

http://www.office27.com  
E-mail: info@office27.com

だったのかもしれない。月イチ江成の脳内で完成済みのセットに足りないものは、実戦で得られるデータだけである。複数の釣り人のウキを見ることで、短時間で効率良く収集することが、「見学する本人のレベルおよび対象者のレベル」によっては可能だろう。スパイ行為だと感じる人もいるかもしれないが、釣れている人の真似をしてすぐ釣れるほど甘くないわけで、長時間席を立って釣る釣果であることが、逆に凄みを増していると感じるのは里だけではない。

「あの保科君がね、江成君のウキの動かし方を見てきてさ、「平山さん、江成さん凄いわ! ヤバいわ! 全然復活してるよ!」って言ったんだよね。昔の江成君を知ってる現役トナメンターの保科君が言うと、ものすごく説得力があるんだよ」

いや〜里も見たかった。やっぱり最終回は近いぞ? ……というか、こんなに書きちゃって、江成から送られてきた約束の「反省文」は以下の「チヨロ」です…。まあチヨロですが、なかなか核心を突く事柄が書かれていると思いますよ。

久しぶりに、次号からの展開が楽しみになってきたぜ、アニキ!

第7回ナリーズ例会 in 椎の末湖  
よく見ると、凄いなメンバーである。



アニキ、「開眼」の2位!



photograph by K.H from WAKES

…色々皆様にご心配をおかけしてしまったようで、今回の例会は気合いを入れて臨みました。今まで頭では分かっている、体験できていなかった部分、納得出来ていなかった部分というものが、だいぶ整理出来ました。釣りをしながらメモをとったのは久しぶりです。それくらい、忘れちゃいけない・再認識したと思うことが多かったんですね。一部を書き出してみます。

by 江成

①どっぷりナジむ上バラケで、アタリがとんでしまうケースによく遭遇するが、全てを「シメ過ぎで寄りが保てなくなった」と判断するのは危険だと感じた。今回2回トイレへ立ち、2回とも再開後すぐに釣れた。すべてを「それまでが寄せ過ぎだった」と判断するつもりはないが、いても反応しないケースはやはりあるのだと実感出来た。円を用いたセットの模式図ではイメージ出来ない領域だが、反応させるキーは、やはり「開き方」である。詳細は書き切れないので、次号以降のテーマとしたい。

②「エサのブレンドはどうだっていい」。なかなか結果が出せないでいると、どうしてもカタチから入りたくなるが、釣れている人のエサがみんな違うし、セッティングや釣り方も微妙に違う。自分が扱いやすいと思うエサでいいのは間違いない。基エサは余りエサで十分だ。

③久しぶりに使ったカヤウキ。明らかに羽根ウキとは違う動き。振り返ってみると僕は本多君のカヤウキを使っていた頃が自分の中での絶頂期だったので、懐しくも感じた。もちろんメリットとデメリットの両面があると思う。これも次号以降で。

④「ハリスの号数を落とすと釣りが簡単になる」。落下スピードや強度に変化が起こるので、ケースバイケースだと思うが、待つてからの釣りでは明らかにアタリが変わる。食いアタリだと思えるアタリがどうも弱いと感じるなら、釣れる気がする力強さになる。エサをいじるより簡単。

⑤当日も一緒にいた天笠 充氏の言う「いいアタリだけ取る」の意味が理解出来た(気がする)。なんでもかんでも待つのではないのは分かっていたし、サワリがある時だけ待つのも知っていたが、どの程度のサワリの量があれば待つていいのか、そのリズムを継続していいのかが、今まではイメージ出来なかった。

⑥天笠氏は今回は軽い「感嘆」を選択した。しかし、僕は「ウドンでは全く組み立て不能だったわけではない」ことを聞き出した。感嘆の方がリズムが良い・組み立てが簡単で、つまりウドンより高釣果が狙えると氏は判断したのだ。月イチの僕は、クワセは固定の方が無難だ。月イチ釣り師には分かりやすいという人間都合でしかなく、重いモノを軽くするのは逆より難しいが、僕はアタリの強弱にメリハリがあるウドンでいく。

⑦天笠語録「完璧に決まったなんて思うことはありません。思い通りになったな、という瞬間を一日の中でどれだけ味わえるか、だけです。そういう意味で、今回は狙い通りのペース・予想通りの釣果で終わることが出来たので、自己採点は90点です」

へら鮒釣りの楽しさを追究し続ける...

# へら鮒

Monthly fishing magazine herabuna

No.497  
May.2007

5

九隻  
信

特集

## 石井旭舟

## 両ダンゴの基本

石井旭舟は断言する。

「基本が全てなんだよ!」

へら鮒釣りを始めたばかりの人も、

自称「エキスパート」の人も、

基本を知り、見直すことで、

最盛期の釣りが絶対に楽しくなるはず。

永久保存版特集です!

### 特別企画

年に一度の「祭典」直前。  
期待の乗込み釣り場&基礎知識紹介!

# 乗込み 大胆予想





4月。そろそろ、両ダンゴでも勝負できるシーズン。  
両ダンゴのシーズンは、  
チョーチンから始まることが多いもの。  
しかも、シーズン序盤に効果的なタッチのひとつが、  
軟らかめのネバ系。  
つまり、両ダンゴの開幕には、  
ヤワネバ系のチョーチン用ダンゴエサ  
「天々」が有効、ということですよ。

# 「天々」で始める 今シーズンの両ダンゴ。

シーズン序盤から活躍する、ヤワネバ系の「天々」。  
ヤワネバのタッチで効果を発揮する、チョーチン釣り用ダンゴエサ。  
なじみ際の早いアタリを積極的に攻めていくことが可能。ダンゴの  
走りから晩秋まで、長期間使用できます。また、管理釣り場から野釣り  
場、準山上湖まで、幅広く対応するのも特長です。

●天々(てんてん) 400g

持たせるための「粘力」もお忘れなく。

麩エサに専用スプーン1杯分を加えるだけで、練ることなく簡単にエサを持たせられる“強力エサ持の素”。軟らかく作っても、ギリギリまで踏ん張りのきくエサに仕上げられます。両ダンゴだけでなく、セットのバラケにも使えます。

●粘力(ねんりき) 60g 計量スプーン付き



丸マルキュー株式会社

〒363-8509 埼玉県桶川市赤堀2-4

お問い合わせ 本社・桶川工場:048-728-0909 大阪支店:072-824-0909  
四国営業所:0877-44-0909 九州営業所:0942-82-0909

ホームページアドレス <http://www.marukyu.com/>

釣り場でエサに困ったら  
釣り場ホームページ  
<http://www.marukyu.com/>

マルキューホームページ内の「へら鮒天国」では、新鮮な釣果情報を掲載中。あなたのお気に入りの釣り場の情報が、見つかるかも。  
<http://www.marukyu.com/> マルキューへら鮒メールマガジンも、お申込はこちらから。

釣れるヒント満載!!  
へら鮒天国

定価 1000円 本体九五二円

